

平成27年11月20日

開議 10時00分

○議長 磯永優二君

皆さん、おはようございます。ただいまの出席議員は、13名であります。

それでは、これより平成27年第6回豊前市議会臨時会を開会し、直ちに本日の会議を開きます。

日程第1 会期の決定を議題といたします。

お諮りいたします。

今臨時会の会期は、議会運営委員会で協議のとおり、本日1日といたしたいと思っております。これに御異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

御異議なしと認めます。よって、会期は1日間と決定いたしました。

続きまして、日程第2 会議録署名議員の指名をおこないます。

会議録署名議員は、会議規則第80条の規定により、議長において、3番 安江千賀夫議員、12番 宮田精一議員を指名いたします。

日程第3 議案第70号を議題といたします。

委員長に、付託案件に対する審査の経過並びに結果の報告を求めます。

総務委員長。

○9番 尾澤満治君

皆さん、おはようございます。総務委員会より報告をします。

継続審査となっております議案第70号について、10月14日と11月2日に総務委員会を開催いたしました。

10月14日は、県内及び九州の類似団体の議員定数や、一人当たりの人口、委員会数などを調べた資料をたたき台に議論をおこないました。

11月2日につきましては、10月27日から30日までおこなった議会報告会でのアンケート結果が、議会報告会の中で事務局より報告がなされました。

アンケート総数253人中、議員定数について、現状のままで良いが54人の21%、減らしたほうが良いが176人の70%、増やしたほうが良いのが1人の0.004%。未記入者が22人の9%であり、減らしたほうが良い、の内訳は、14人が1%、13人以下が88%を占めている、との報告がありました。この報告を踏まえ議論を重ねてきました。

委員より、議会と執行部は両輪であり、議員が減ると民意が反映できなくなるので現状維持。豊前市と同じ人口2万人台の九州等の15市の定数は、平均16であるので、今回は定数14で良いのではないかと。また豊前市の人口を見据えても、人口減少は止まらない

し、議会報告会でのアンケートを見ても、民意を反映するために、定数13人に削減すべき、など意見が出ましたが、ある程度、議論も出尽くしたようですので、採決を取らせていただきました。

賛成多数で、議案第70号は、可決をさせていただきました。

以上で、総務委員会より報告を終わらせていただきます。

○議長 磯永優二君

以上で、委員長報告を終わります。

委員長報告に対する質疑に入ります。質疑はありませんか。

(「なし」の声あり)

これをもって、質疑を終わります。

これより討論に入ります。討論はありませんか。

宮田議員。

○12番 宮田精一君

私は、この議案に反対の立場から討論をいたします。

まず、第1点目ではありますが、4年前、当時の定数17を2つ減らして15にしております。定数削減については、一定の努力をしている、このように評価できるのではないのでしょうか。

2点目、先程の報告もありましたが、11月2日におこなわれた総務委員会が出された資料によりますと、人口2万人台の九州の市でも、豊前市は、人口に比べて議員定数は決して多いほうではない、このことが明らかになりました。

3点目、近隣の自治体との比較であります。平成22年度の国勢調査のデータです。人口2万1572人のみやこ町、こちらは、定数16人です。同じデータでいきますと、人口1万9544人の築上町は、議員定数14名です。

豊前市は、今回15から2つ減らして13、このようにすれば、人口に対する議員定数の格差比率がさらに拡大することになります。

4点目、今回の提案の背景には、いわゆる経費の削減、このことがあるのではないかと思います。これを言うのであれば、費用弁償や政務活動費の廃止や削減を考えるべきである、このように私は思います。吉富町では、数年前に費用弁償を廃止しております。このように聞いております。みやこ町では、旧豊津町時代にあった政務調査費は、現在、制度としてこれがないと、このように聞き及んでおります。

豊前市においては、このようなことは、今回、具体的に検討されておられません。

以上、4点を踏まえて、私は、市民の声を市政に届ける議員の定数削減案に対して、反対いたします。以上です。

○議長 磯永優二君

ほかにありませんか。

黒江議員。

○1番 黒江哲文君

私は、この議案につきまして、賛成の立場で討論をいたします。

議会で、いろいろ様々な議論をしてきたわけでありませうけれども、民意を問うということについて、議会報告会で、今回、アンケートも付けて民意を問うて議論したわけでありませうが、この議会報告会の際にも、地域の課題等で多々挙がっておりました。また10月市報での市長の部屋での経常収支比率、これを基に地域の課題からは、定数削減、15名を13名にするということは、単なる財源を考えてのことなのか、しっかり議論はなされたのか、また有権者の少ない地域では、議員がいなくなるのではないかと、というような議論もありました。

しかし、いろんな賛否があったわけでありませうが、そこにつきましては、先程、委員長からもアンケート調査結果がありました。70%が減らすべき、ということでありました。

そこで、議会からは、今後の議会は、地域から出た議会ということではなく、豊前市を総合的に取り組むような議会として、議会が変わらないと悪い。そのように取り組みたい、ということを経会から答弁したわけでありませう。

定数の率、近隣との比較というものがありませうけれども、私は、この部分につきましては、数が、どこが妥当かということは定かではありませうが、私は、一番重視したいのが、前回の地方統一選挙におかれませうても、投票率過去最低、そして選挙の無投票選挙、これが自治体では過去最高の数だった、というふうに聞いておられます。

やはりこの近隣を見ませうても、中堅の議員さんが数名辞める、そして選挙にならないのなら議員に出ようと、立候補しようというような声も多々聞いたわけでありませう。

やはり、この議会として、市民の見る目から、やはり議員になりたい志のある者が、若い人が出たいと言われるような議会にしていくべきではないかと、というふうに考えるとこゝろでありませう。

そこについて、歳費の問題、数の問題というふうにありませうけれども、やはり議員自体が、自らがしっかりと努めていくことで、例え人数が減っても、この辺についてはしっかり市民の負託に応えられるのではないかと、というふうに思います。

そこで、やはり豊前市の議会が魅力ある議会にしていくためにも、市民に納得していただけるように、まず定数の削減から取り組むべきではないかと、ということでありませう。

今後、市民にしっかり議会の活動を理解してもらっていただけるような議会にするためにも、私は、この議案について賛成の立場といたします。以上です。

○議長 磯永優二君

ほかにありませんか。

鎌田議員。

○6番 鎌田晃二君

賛成の立場から討論をいたします。

近隣との比較という話もございましたが、それを言うのであれば、日当制を実施している自治体もございます。これはもう自治体自体で、私たち議会人がしっかり考えていけばいいことでありますし、また常任委員会も掛け持って、いま一生懸命頑張っておりますし、できております。また現行もこの人数で頑張っておりますので、これは、大丈夫であると思っております。

また、先程出ましたけれども、会議費用弁償の、この廃止というものも12月議会で提案する検討もしておりますので、皆、議員自ら自分を正して検討しておりますので、素晴らしい豊前市議会になっていると、私は思っております。

そういった意味でも、賛成をいたします。以上です。

○議長 磯永優二君

ほかにありませんか。

(「なし」の声あり)

これをもって、討論を終わります。

これより、採決に入ります。

日程第3 議案第70号を採決いたします。

本案に対する委員長報告は、可決であります。

本案を、委員長報告のとおり決することについて、押しボタンによる賛否の表決を求めます。

(各議員、押しボタンにより投票)

間違いはありませんか。

(「なし」の声あり)

それでは、確定いたします。

賛成多数であります。よって、本案は、原案のとおり可決されました。

続きまして、日程第4 推薦第1号 豊前市農業委員会委員の推薦についてを議題いたします。

お諮りいたします。

本市議会が推薦する農業委員は、次のとおりであります。

氏名、住所を申し上げます。

豊前市大字中村547番地1

山崎 廣美

昭和28年12月26日生まれ 61歳であります。

ここで、地方自治法第117条の規定により、山崎廣美議員の退席を求めます。

(山崎議員、退席)

お諮りいたします。

ただいま申し上げました、山崎廣美議員を推薦したいと思いますが、これに御異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

御異議なしと認めます。よって、ただいま、山崎廣美議員を推薦することにいたしました。

ここで、議事運営上、暫時休憩いたします。

再開は、放送にてお知らせいたします。

休憩 10時14分

再開 10時24分

○副議長 山崎廣美君

休憩前に引き続き、会議を開きます。

日程第4 推薦第1号 豊前市農業委員会委員の推薦についてを議題といたします。

お諮りいたします。

本市議会が推薦する農業委員は、次のとおりであります。

豊前市大字八屋2346番地

磯永 優二

昭和30年8月31日生まれ 60歳であります。

ただいま申し上げました、磯永優二議員を推薦したいと思いますが、これに御異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

御異議なしと認めます。よって、ただいま、磯永優二議員を推薦することにいたしました。

ここで、議事運営上、暫時休憩いたします。

再開は、放送にてお知らせいたします。

休憩 10時25分

再開 10時26分

○議長 磯永優二君

休憩前に引き続き、会議を開きます。

以上で、今臨時会に付議されました案件は、全て終了いたしました。

それでは、これをもって平成27年第6回豊前市議会臨時会を閉会いたします。

皆さん、お疲れ様でした。

閉会 10時26分